



住民を代表して決意宣言する近江会長

交通安全住民大会が文化交流センターで開かれ、住民や交通関係機関等の関係者らが参加しました。  
はじめに、関町長が「交通事故のない明るい町づくりを実現していきましよう」と挨拶した後、留萌警察署の作田交通課長が講演を行なったほか、住民を代表して、小平町社会福祉協議会会長の近江基輝会長が決意宣言を行いました。  
大会終了後は、参加者全員による交通安全旗の波行動が国道232号沿道で行われ、通行車両に安全運転を訴えていました。

4 | 9  
悲惨な  
交通事故  
撲滅誓う

小平町交通安全  
住民大会



施設に放たれるサケの稚魚

サケ稚魚放流作業が幌沖内川上流で行われ、新星マリン漁業協同組合道立水産ふ化場ら関係者が、サケの稚魚約200万匹を4月11日から3日間にわけて稚魚中間育成施設や、町内の川へ放流しました。  
稚魚は、道立水産ふ化場道北支場から輸送され、回帰率を高めるために、中間育成施設では約2週間飼育された後、川に放流されました。  
放流されたサケは、約4年後に2%程の回帰率で遡上するとされています。

4 | 11  
元気に戻れ  
と願い込め

幌沖内川で  
サケ稚魚放流



防火パレードを皮切りに始まる春の火災予防運動

留萌消防組合小平消防署、鬼鹿支署と小平、達布、鬼鹿各消防団の防火パレードが町内一斉に行われました。  
小平地区では消防車両7台、達布地区と鬼鹿地区ではそれぞれ4台の消防車両が各地域を巡回し、火の用心を呼びかけました。  
防火パレードは、空気が乾燥し、火災が発生しやすいこの時期に行われる「春の火災予防運動」初日に実施されています。  
30日までの運動期間中には、高齢者単身世帯への防火訪問活動や、火災防ぎよ訓練等が行われました。

4 | 20  
春の火災  
予防運動  
始まる

町内で消防車両  
防火パレード



勢いよく雪を飛ばす重機

4月2日に(株)向井建設(向井勝広代表取締役)による地域貢献活動が小平小学校グラウンドにて行われました。  
この雪割り作業は毎年町内外の業者により実施され、グラウンドでの授業や、スポーツ少年団の早期活動に貢献されています。  
作業は4名の従業員によって行われ、従業員は重機とスコップを使っていまだ多く残るグラウンドの雪を力強く除雪しました。

ご厚志  
ありがとうございます

(株)向井建設が  
地域貢献